２０１８年（平成３０年）５月２２日　火曜日

デーリー東北　１２面　掲載

光星快勝 2回一挙5点

【八学光星―八学野西】八学光星2回2死満塁、長南佳洋が右前に2点適時打を放ち、4―0とする＝六戸メイプル

八学光星	0	5	0	0	0	1	0	0	0	6
八学野西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（光）伊貸、後藤―秋山

（野）松山、菅野、久保田―白石健

▽二塁打　武岡、近藤俊（光）久保田、舘（野）▽捕逸　白石健2（野）▽試合時間　2時間10分

（主審＝蛇名、塁審＝西村、藤谷、松浦）

【評】八学光星は二回、捕逸に乗じて2点を先制。2死満塁で長南が右前適時打を放ち2点を追加し、さらに矢野の右前打でリードを広げた。その後は、六回に1点を追加するにとどまったが、伊貸、後藤の継投で零封し、危なげない試合運びを見せた。

八学野西は7安打を放つなど好機をつくったが、決定打が出なかった。

変化球狙いが的中

○…2回に一挙5点を奪い、試合を決めた八学光星。インコースのスライダーを捉え、2点を奪う右前打を放った長南佳洋主将は「変化球狙いが的中した。反省点も多いが、勝ちにこだわった結果が出た」と振り返る。

大量点を奪った2回。一気に試合を決めたい場面で、自身の走塁ミスなどで流れをつかみ切れなかったと話す長南。「判断ミスが重なり勢いに乗れなかった。気を引き締めなければ」と悔しさを口にする。

ただ、ピンチに陥りながらも要所を押さえ、相手に本塁を踏ませなかった守備を収穫に挙げ、「甲子園まで一度も負けたくない気持ちを全員が持っている。次戦が最初の山場なので全力でぶつかりたい」と前を見据えた。

夏への明るい材料

○…八学野西は零封負けを喫したが、右肩を負傷していた3年の左腕・久保田大陸が五回途中から救援し、八学光星の強力打線を2安打無失点に抑える好投。夏に向けて明るい材料を得た。

久保田はマウンドに上がると、伸びのある直球を丁寧に低めに集めた。最後の夏を控え、「1試合投げ切れるように準備して、悔いのない投球をしたい」と意

【八学光星】			打	安	点	振	球
④	3	近藤俊	5	3	0	0	0
⑥		武岡	4	2	1	0	1
⑧		長南	4	2	2	1	1
⑦		東	4	0	0	0	1
7		北林	0	0	0	0	0
③	9	矢野	4	2	1	0	1
⑤		下山	4	1	0	0	0
⑨		澤波	2	0	0	0	0
1		後藤	1	1	0	0	0
②		秋山	4	0	0	1	0
①		伊貸	1	0	0	0	1
H		近藤遼	1	1	0	0	0
R	4	島袋	1	0	0	0	0

犠	盗	失	併	残	打	安	点	振	球
1	0	1	2	8	35	12	4	2	5

【八学野西】		打	安	点	振	球
⑥	細井	3	0	0	1	0
④	金浜	4	0	0	2	0
②	白石健	3	0	0	1	1
⑨	舘	3	1	0	0	1
⑤	坂本	3	0	0	1	0
③	川村	4	1	0	0	0
⑦	田沢	2	1	0	0	2
①	松山	0	0	0	0	0
1	菅野	2	0	0	1	0
1	久保田	1	1	0	0	0
H	佐々木駿	0	0	0	0	1
R	細越	0	0	0	0	0
⑧	佐々木廉	4	3	0	0	0

犠	盗	失	併	残	打	安	点	振	球
2	0	1	2	9	29	7	0	6	5

投手	回	打	安	振	球	失
伊貸	5	20	2	5	4	0
後藤	4	16	5	1	1	0
松山	1 2/3	11	3	2	3	5
菅野	4	19	7	0	2	1
久保田	3 1/3	11	2	0	0	0

青森県
春季高校野球

第2日

きのうの結果

▽2回戦

【長根】

青森7―3五所商

百石10―0青森北

（6回コールド）

【六戸メイプル】

三本木5―2工大一

弘前東6―1八高専

八学光星6―0八学野西

青森山田4―3弘学聖愛

【八戸東】

大湊16―6五農

（6回コールド）

弘前工5―4三沢

きょうの試合

▽準々決勝

【六戸メイプル】

青森―百石（10・00）

三本木―弘前東（12・30）

【長根】

八学光星―青森山田（10・00）

大湊―弘前工（12・30）

デーリー東北新聞社提供